

大分南部地域まちづくりビジョンフォローアップ会議通信 第5号

発行：令和6年2月1日 大分南部地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

この通信は、地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

【フォローアップ会議を開催しました】

日時：令和5年11月24日（金）
18時30分～
場所：大分南部公民館 集会室



地域まちづくりビジョン フォローアップ会議

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、それぞれの地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取組をまとめた「地域まちづくりビジョン」が策定され、平成30年7月に市長に提言されました。

地域まちづくりビジョンフォローアップ会議は、地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政が一緒にまちづくりを進めるため「地域まちづくりビジョン」に掲げる事業について、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれのテーマにおいて、取組状況を報告し、各取組の今後の進め方や課題などについて情報共有、意見交換を行うものです。

地域の目指すべき姿(将来像) ～自然豊かな温故知新を体感できるまち～



下郡：門松づくり



滝尾：芸能文化祭



森岡：竹灯籠

□地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況について（抜粋）

提言1：住み続けたい、帰ってきたい地域づくり

住民がいつまでも住み続けたいような地域、そして、一度地域を離れた人もいつか帰ってきたいと思えるような地域づくりを望みます。また、子どもから高齢者まで幅広い世代が、いつまでも安心して暮らせるような地域づくりを望みます。

【提案事業】

- ①子育てしやすい住環境の整備
- ②JRの線路を利用して富山方式の路面電車を走らせる
- ③滝尾駅前の広い空地を活用
- ④下郡駅の開設とその沿線に防災公園のある桜並木道の整備
- ⑤利便性に富んだ街づくり

大分駅・滝尾駅間新駅建設

・【市】令和2年6月に庁内関係部局による研究グループを立ち上げている。期成会と協働で、令和3年8月に新駅利用意向アンケート調査を実施し、調査結果をJR九州に説明している。その後、JR九州と協議を重ね、新駅設置に必要な費用や収支の予測、新駅を設置した場合の周辺踏切への影響などについて検討をしている。

・【地域】令和元年11月に滝尾地区連合自治会が主体となる「大分・滝尾駅間新駅建設促進期成会」が設立され、令和2年6月に市議会への請願が採択、令和2年7月、令和4年2月にJR九州大分支社への要望、令和2年12月・令和4年10月にはJR九州本社へ要望活動を行っており、JR九州からは請願駅（請願者負担）として検討することの回答を受けている。



新駅建設期成会の方々

滝尾中部地区住環境整備事業

・【市】平成29年度に都市計画道路「片島松岡線」の事業計画の認可を受け、平成30年度から建物等移転補償及び用地買収を実施している。今年度も引き続き、建物等移転補償及び用地買収を実施するとともに、JR九州と工事協定を締結しJR豊肥線アンダーパス区間の工事に着手する予定である。

地区拠点等まちづくり基本構想

・【市】滝尾駅周辺において、交通結節機能の強化や道路を含めた住環境の改善などに向けた整備を行うため、令和2年度より地元とまちあるきや勉強会を実施し、整備箇所や短・中・長程度のスケジュールも含めた「滝尾駅周辺整備基本構想」を令和5年3月に策定した。

・【市】都市計画道路「滝尾駅前線」については、現在、整備に向けた検討を行っており、今年度中に都市計画決定の変更（道路形状、用途地域）を行う予定である。また、滝尾駅前広場整備のワークショップを2回開催し、現在、滝尾駅前広場基本計画の検討を行っている。



アンダーパス部 イメージ図

■ 本回覧物は大分市ホームページにも掲載しています。
【問合せ先】大分南部公民館 (Tel) 568-0055

提言2: 地域の歴史的・文化的遺産などを活かした地域交流の充実

地域に残る滝尾百穴などの歴史的遺産や、神楽などの文化的な需要が高い本地域の魅力を最大限に活かし、地域住民同士や地域外の人とも世代を超えて交流できる取組を継続・充実させ、豊かな自然とともに、地域の資源を一体的に堪能できる仕組みづくりを望みます。

《提案事業》

- ①豊富な歴史を活かした旧跡めぐりサポーターの育成
- ②子育てサロン・地域ふれあいサロンなど未来へつなぐコミュニティの充実・拡充
- ③下郡に新たな公園整備

公園の整備

- ・【市】防災機能を備えた「下郡あおぞら公園」を整備した。
- ・【地域】5月14日（日）に「第2回あおぞらフェスタ」（イベント）を開催した。（芸能・文化の発表や出店、地震体験車による体験活動や防災対策物品の展示による啓発活動を行い、防災意識の向上を図ることができた。）



第2回あおぞらフェスタ

サロン活動・地域活動

- ・【地域】【地域ふれあいサロン】令和5年度は、市内260自治区でサロン活動を実施している。滝尾地区では、7サロンで計178回、延べ3,058人（令和4年度）が運動や小物作り等の活動を行い、交流を深めた。月2回程度の頻度で、ゲームや歌唱、健康相談を行うなど、高齢者の生きがいづくりや、仲間づくり、介護予防の場を提供している。
- ・【地域まちづくり事業】曲石仏おせつたい、下郡っ子いきいき倶楽部、竹灯籠鑑賞会

提言3: 災害に備えた取組の推進

南海トラフを震源とする巨大地震とこれに伴う津波や、大雨による河川のはんらんなどへの備えとして、住民による自助はもちろん、地域における共助や国・県・市における公助も重要です。特に、大分川に面している地域として、水害に対して直ちに避難できる安全の確保を望みます。

《提案事業》

- ①児童と高齢者が安全に避難できる避難設備（インフラ）の整備
- ②安心・安全な地域づくり
- ③下郡に新たな公園整備

片島雨水排水ポンプ場建設事業

- ・【市】片島地区及び羽田地区の浸水対策として、片島雨水排水ポンプ場の建設を行っている。ポンプ能力18.0m³/秒を排水可能であり、現有の皆春・元町ポンプ場に次ぐ規模となる。
- ・【市】令和4年度に供用開始し、今年度は場内整備を行っている。



防災かまどベンチ

防災関連事業

- ・【市】市内に32台（南部地区5台）の災害監視カメラを設置し、WEB公開している。また、大分市高潮ハザードマップを作製し、市民に公表している。一般的な災害情報は、大分市HPやSNS等で発信しており、避難情報など地域への情報は、自治委員及び自主防災組織を通じて連絡する体制を構築している。
- ・【市】地域防災リーダーとしての役割を担う人材として、防災士を養成している。

□地域の活動報告について（抜粋）

○下郡あおぞら公園の活用について 南下郡町内会 佐藤 宏俊

1. 南下郡町内会の活動について

これまで、南下郡町内会では、住みよい町作りしようという目標を掲げ、地域の住環境の向上に努めている。その中で、公園や道路の整備、新駅建設の要望など、様々な活動を行っている。

このような状況の中、防災機能を備えた「下郡あおぞら公園」が整備され、令和4年3月に完成した。普段は、運動広場を滝尾中学校のサッカー部や高齢者のグランドゴルフ・ゲートボールなどが利用し、保育園の運動会や学校の遠足での活用など様々な年代の方に利用していただいている。地域としても、花壇の整備や広場の草刈り、トイレの清掃などを通して、明るくきれいな公園整備に努めているところである。



2. あおぞらフェスタの実施

あおぞら公園での活動では、地域住民へのアンケート調査を行い、そのアンケート結果から、あおぞらフェスタという大きなイベントを計画し、実施するに至った。

今年では中学生に司会者を依頼し、地域や近隣の学校の部活動など多岐にわたる発表や地域住民による作品展などを行うとともに、出店などを行った。

併せて防災フェスを開催し、地震体験車による体験訓練や公園に設置されているかまどベンチや防災シェルターを活用した防災訓練や防災士による備蓄品の展示により、防災に対する理解を深める活動を行った。その結果、今年の参加者は3,000人を超える状況となるなど、盛大なイベントとなった。非常に多くの方が活用していることを踏まえ、今後もしっかり管理をしながら、住民みんなで楽しい町内会としていけるよう努めていきたいと考えている。



□意見交換での主な内容（抜粋）

- ・片島雨水排水ポンプ場ができたから、その周辺では冠水がなくなると考えてよいか。また、避難行動等はどのようにすればよいか。
（回答）1時間に51.7mmの降雨を想定し、排水能力18.0m³/秒のポンプ場を建設しましたが、河川水位上昇の状況により排水ポンプの運転を一時停止することがございます。ですからポンプ場ができたから避難しないで大丈夫だという意識は持たずに、付近の防災情報と避難情報を踏まえて、ポンプ場がないに関わらず、その場に応じた避難行動を取っていただきたい。
- ・現在取組を行っている道路の整備に留まらず、南北幹線道路など中長期の計画となっている道路についても、積極的な整備をお願いしたい。
- ・片島松岡線の、アンダーパスについて、水害時等の対応策があれば教えてください。
（回答）排水ポンプを3台設置し、うち2台を常時稼働、1台を非常時に稼働するように今計画している。
- ・片島松岡線について、子どもたちの通学路となる可能性が高いと思いますので、通学する子どもたちの安全の観点から、防犯灯や防犯カメラの設置を検討していただきたい。
- ・滝尾地区の中の一部地区では、まだ下水道が通っていないところがあるため、積極的な整備をお願いしたい。